

「自分らしく」最期の時を迎えるために

地域密着型特別養護老人ホーム星の里 石原 侑 いしはら ゆう

令和5年に入居されたS子さんは、ビブラートをきかせて歌うほど、歌が大好きな方でした。特に「この道」が大好きで職員と一緒に歌って過ごすのが日課でした。



▲誕生日に職員に囲まれて笑顔に

また、食べることも大好きで「お腹すいたね」が口癖でした。職員が献立を伝えると「おいしそう」と笑顔がこぼれました。

少しずつ体調を崩すことが増え、食べるのが難しくなりました。食べる楽しみを少しでも長く継続するために、多職種で話を重ね、食事姿勢や車いすの見直し、食事形態の変更などを行いました。それでも、口から食べるのが難しくなりました。難しい状況の中でもS子さんの食の楽しみを継続するため、大好きなアイスクリームや果物ジュースをスポンジブラシに含ませて味わえるようにしました。「とてもおいしいよ」と笑顔で話されたことは、今でも印象に残っています。

ご家族からも「食べるのが好きな人だから、少しでも長く食べることができ、本人も幸せだったと思います」と労いの言葉をいただきました。

これからも、その人らしく最期まで過ごすことができるよう、ご本人の思いを大切にしていきます。

かわいい犬たちの訪問

星の里・山波の家 新谷 愛 しんたにあい

広島県動物愛護センターからモデル犬1匹と子犬4匹が来所し、ふれあい活動を行いました。

皆さん犬とのふれあいをとても楽しみにされており、モデル犬のデモンストレーションでは「しっかりしつけられているね」「賢いね」と興味津々。子犬とのふれあいではギュッと抱きしめ「このまいうちに連れて帰りたいよ」「またいつでも来てほしいね」と嬉し涙と笑顔あふれる一日になりました。



このまいうちに連れて帰りたいよ



子犬の可愛さに心が和みます

さつき SATSUKI

第82号 令和7年3月

発行 社会福祉法人 尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com
E-mail:hoshinosato@satukikai.com



巾着袋の新作が完成しました。かわいらしい絵は利用者さんがひとつひとつ手描きした一点ものです。生き生きとした力強い線やカラフルな色使いで描かれている作品は、手に取る方の心の癒しにもなります。

手作りチョコレート入りと手作りマーメイド入りの二種類があり、尾道市東土堂町のLOGで販売中です。

よしむら まりえ 尾道さつき作業所 吉村 真里江

寄付者一覧

2024年9月～2024年12月 順不同・敬称略

(寄付金) 府中地区労働者福祉協議会 株式会社山本製作所 永正寺 田邊耕造 向田恒昭 林洋子 匿名者1名
(寄付物品) 岩本光平 吉田直樹 東山寛隆 土井和江

アンケートへのご協力をお願いいたします。

本アンケートでは広報誌さつきの内容やレイアウトについてお尋ねします。回答に要する時間は3分程度です。

こちらから回答をお願いします



尾道福祉専門学校 TikTok

SATSUKI ONLINE STORE

尾道さつき作業所 Instagram

手織り屋おのみち Instagram

82号の topics

- 癒しのハンドマッサージ
 - 介護の思いを絵本に乗せて
 - 農家さんとのつながり
 - 「自分らしく」最期の時を迎えるために
 - シリーズ 新人紹介
 - かわいい犬たちの訪問
- 法人本部・公益分野 ■高齢者分野 ■障害児・者分野 ■シリーズ

癒しのハンドマッサージ

～ボランティアや地域との関わりを通して～



にしごこの家・認知症対応型共同生活介護 原 康次郎

昨年11月4日、にしごこの家にハンドマッサージのボランティアが来られました。今回のボランティアの方は、にしごこの家の元職員です。ラベンダーやみかんなどの香りに包まれる中、マッサージを受けた利用者の皆さんは表情がやわらかくなっていました。職員も習いながら挑戦しましたが、うまくできたかは若干の不安があります。

ハンドマッサージを通して、落ち着いた雰囲気皆さんと話すことができ、「また次回があればいいね」と、とても喜んでいただけました。

にしごこの家では、昨年度より週に1回の傾聴ボランティアや地域での見守り訓練、今年度はどうえん吉和認定こども園との交流、吉和中学校の職場体験の受け入れなど、ボランティアや地域との交流を深めています。日々の利用者の皆さんとの橋渡しができるように、これからもさまざまな活動を行っていきます。

いい香りに包まれて
ハンドマッサージ中。

農家さんとのつながりを大切に

～地域の素材にこだわったお菓子作り～

尾道さつき作業所では「SATSUKI」ブランドでチョコレートやドライフルーツ、マーメイドなどを作っています。素材は主に、信頼のおける生産者さんが作られた尾道産です。

生産者のお一人、山本 益男さんをご紹介します。山本さんは祖父母や両親から受け継いだ畑を守り、3カ所9反(約90アール)の畑で不知火、はれひめ、たまみ、はっさくなどを栽培しています。お手伝いを頼むこともありますが、基本的には一人で農業に取り組んでいます。「雨が降らない日は毎日畑に来る」と言い、傾斜地にある畑についても「このへんはまだ緩いほう」と笑います。



▲尾道で山本さんだけが栽培している「たまみ」



▲収穫中の山本さん

また、たまみは尾道では山本さんだけが栽培しており、皮をむいた瞬間、オレンジのような濃厚な香りが周囲に広がります。希少な柑橘を仕入れることができるのも生産者さんとのつながりのおかげです。

これからも地域の素材にこだわり、生産者さんとのつながりを大切に、安全でおいしいお菓子作りをしていきます。



尾道産の柑橘で作ったドライフルーツ

3/22(土) ONOMICHI U2の周年イベントに参加します。
尾道産の柑橘を使ったドリンクコーナーや物販、ワークショップ、作品展示を行います。

新人職員紹介



ほそや かいしゅう
細谷 海舟 さん

グループホームブライト

Q1 この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください

私には吃音症があり、学生時代のアルバイト業務がスムーズにできませんでした。そうした中、社員の方から優しく業務を教えてもらった事がきっかけで、自分も同じように障害のある方の力になりたいと思いました。

先輩方に助言を貰いながら、精一杯頑張ります。

Q2 一番印象に残ったこと

ある利用者さんに対して、統一した支援を目指してシミュレーションし、対応方法を考えたことです。「どうすればご本人が自立して生活できるか」をスタッフ同士で繰り返し協議し実行してきました。ご本人が落ち着いて自分の力で活動できるようになり、支援の達成感を感じることができました。



ひろもと いっせい
廣本 一静 さん

特別養護老人ホーム星の里

Q1 この仕事を選んだきっかけ・意気込みを教えてください

福祉科のある高校に入学し、色々な面で入居者様を支える介護という仕事に魅力を感じました。働く中で「もっとこうしておけばよかった」と反省する事がありますが、今経験していることは、入居者様へのよりよい支援につながるので、日々励んでいきます。

Q2 一番印象に残ったこと

ある入居者様から、自分の名前を呼び「声掛けが優しくいいねえ」と言っていたことができました。自分の中でも丁寧な声掛けをしていく事は特に意識していたので、入居者様からお声を掛けていただいたことは非常に嬉しく印象に残っています。

介護の思いを絵本に乗せて～尾道市立大学院生との絵本づくり～



▲ストーリーが選ばれたチーム

尾道福祉専門学校1年生 稲毛 優斗

私達は今、尾道市立大学院生の藤川愛さんと絵本づくりに取り組んでいます。

事の始まりは、昨年8月介護の魅力イベント「かいごとそばに。」で尾道市立大学の学生と一緒に運営に参加したことです。藤川さんはこのイベントが介護を知るきっかけとなり、私達は藤川さんの夢が絵本作家になることだと知り、このコラボが始まりました。

私達の役目はストーリーを作ること。3つのストーリーを考え、地区の児童民生委員や法人内の介護職員、職員の中でも実際に子育て中のパパママに審査をお願いし、ひとつのストーリーを選びました。これから藤川さんが描く絵が乗せられていきます。読んでくれる子ども達に「人を元気にすること」は「自分も元気になる」ということ、大人の方には「自分を豊かにすること」だと感じてもらえる絵本を作ろうと思っています。

藤川さんと私達はお互いにコラボすることができ、とてもラッキーだと感じています。尾道の地で巡り合えたことに感謝し、尾道に残していくものを作りたいです。



▲絵本について学ぶ授業風景